

- 問1 大阪府の百舌鳥・古市古墳群に含まれる、三重の濠が巡らされた日本最大の前方後円墳の名称と、それが登録されているユネスコの区分の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 大仙古墳 (世界文化遺産) 2. 大仙古墳 (世界自然遺産) 3. 五色塚古墳 (世界文化遺産) 4. 箸墓古墳 (世界文化遺産)
- 問2 千葉県最大級の前方後円墳である内裏塚古墳が築造された古墳時代の中期には、大陸との交流を通じて新しい製作技術が導入されました。この時期に生産が始まった「須恵器」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 弥生土器の流れを汲み、野焼きによって比較的低温で焼かれた赤褐色の土器 2. 表面に魔除けの意味を持つ縄目の文様をつけた、厚手で黒褐色の土器 3. 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器 4. 青銅を原料として鋳造され、祭祀の道具として用いられた釣鐘型の道具
- 問3 5世紀頃、大和政権は近畿地方から遠く離れた地域まで勢力を拡大しました。各地の有力者の墓（古墳）から、当時の王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀が発見されている事実は、当時の政治体制についてどのようなことを示していますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 地方の有力者が、大和政権を介さず独自に大陸と外交を行っていたこと 2. 征夷大將軍が派遣され、東北地方まで完全に平定されたこと 3. 仏教の伝来によって、全国の有力者が同じ信仰を持つようになったこと 4. 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと
- 問4 4世紀から7世紀頃にかけて朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住した人々は、それまでの土器とは異なる、黒っぽくて硬い「須恵器」の製作技術や、文字としての「漢字」などを伝えました。このような人々を何と呼びますか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 弥生人 2. 縄文人 3. 渡来人 4. 防人
- 問5 古墳時代中期（5世紀後半）におけるヤマト政権（大和政権）の勢力圏の広がりを説明する記述として、最も正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 近畿地方を中心に巨大な前方後円墳が作られ始めたことから、この時期にはすでに東北地方まで完全に統一されていたと判断できる。 2. 『魏志』倭人伝に記された女王の朝貢記録により、中国から認められた政権が全国の地方豪族完全に服従させていたことがわかる。 3. 仏教を政治に取り入れた聖徳太子が、全国に国分寺を建てることで、九州から関東までの地方組織を直接支配していたことがわかる。 4. 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。
- 問6 古墳時代、朝鮮半島や中国から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられたもので、日本における記録や公文書作成の基礎となった文字を次の中から選びなさい。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. カタカナ 2. ローマ字 3. ひらがな 4. 漢字
- 問7 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。 2. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。 3. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。 4. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。
- 問8 古墳時代の展示において、当時の有力者の墓である古墳の内部に納められた「副葬品」が紹介されています。これらの中で、被葬者の権力や権威を示すとともに、当時の中国大陸との活発な交流を裏付ける代表的な資料として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 弥生時代に主に近畿地方を中心に広まり、祭祀の道具として使われた青銅器の銅鐸 2. 古墳の墳丘の頂上や周囲に並べられ、聖域を区切る役割を持っていた人や馬の形の埴輪 3. 大陸との外交関係や支配者の権威を示すために墓に納められた、三角縁神獣鏡などの銅鏡 4. 魔除けや豊かな収穫を祈る儀式に用いられた、縄文時代の土製の人形である土偶
- 問9 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島から日本列島へ移り住み、大陸の高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 渡来人 2. 防人 3. 遣隋使 4. 御家人
- 問10 5世紀から6世紀にかけて、日本列島には大陸から多くの人々が移り住みました。この時期の遺跡である前方後円墳などからは、円筒埴輪や人物埴輪とともに、高温の窯で焼かれた硬くて灰色をした土器が出土しています。この土器の製作技術を日本に伝え、さらに文字や儒教、仏教といった高度な文化をもたらした人々を何と呼びますか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 遣隋使 2. 防人 3. 渡来人 4. 語部
- 問11 古墳時代における渡来人の活動と、日本社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれか選びなさい。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。 2. 九州北部の防衛のために東国から派遣され、唐や新羅による侵攻に備えて沿岸を警備した。 3. 中国の優れた制度や文化を吸収するために日本から派遣され、小野妹子らがその代表である。 4. 平安時代に地方の政治が乱れる中、自らの土地を守るために武装し、後の武士の源流となった。
- 問12 5世紀、ヤマト王権の「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に繰り返し使者を送りました。中国側の歴史書『宋書』倭国伝に記されている、彼らが朝貢を通じて中国皇帝に認めてもらおうとした地位や権限とはどのようなものですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 鎖国体制を維持するために、他国との国交を断絶する公式な許可 2. 日本国内の支配権に加え、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権 3. 明との間で勘合を用いた貿易を行うための独占的な権利 4. 遣隋使の派遣を永続的に免除される特権
- 問13 大和政権（ヤマト王権）において、朝鮮半島から移り住んだ人々の知識や能力が、政権の運営にどのように活かされたか。当時の記録や実務に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 独自の文字を開発することで、それまで口伝のみであった日本の神話を初めて文字で記録した。 2. 将軍から土地の支配権を認められる代わりに、軍役や番役を果たす主従関係の基盤となった。 3. 九州北部の沿岸部で、唐や新羅などの外国勢力の侵攻を監視・防御する軍事的な役割に特化した。 4. 文字の読み書きや計算の能力を活かし、公文書の作成や財政管理といった行政実務を担った。